

事務連絡
令和4年1月24日

各

都道府県
保健所設置市
特別区

 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

令和4年度の狂犬病予防法に基づく狂犬病の予防注射の時期について

新型コロナウイルス感染症については、全国的に新規感染者数が増加しており、オミクロン株による感染が拡大している地域もあることから、医療提供体制等の必要な体制整備を進めるとともに、密回避等の基本的な感染防止対策の徹底について国民への周知を行っているところです。

令和3年度の狂犬病の予防注射（以下単に「予防注射」という。）については、新型コロナウイルス感染症の発生又はまん延の影響によるやむを得ない事情により、令和3年6月までに予防注射を受けさせることができなかつた犬の所有者又は管理者について、令和3年12月31日までの間、当該事情が消滅した後速やかにその犬について予防注射を受けさせたときは、狂犬病予防法施行規則（昭和25年厚生省令第52号）第11条第1項に規定する期間内に予防注射を受けさせたこととしました。

令和4年度の予防注射の時期についても、新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大状況等を踏まえた感染症のまん延防止の観点等から、今年度と同様、やむを得ない事情がある場合は、本年12月末までに受けることも差し支えないこととする方向での検討を進めておりますので、事前に御連絡いたします。

都道府県等におかれましては、各地域での新型コロナウイルスの感染者の発生状況等を踏まえ、予防注射の実施時期に基づき犬の所有者や獣医師等が感染する機会が増えることのないよう柔軟に予防注射の接種計画を検討いただきますよう、管内の市区町村を含む関係者に周知方よろしく申し上げます。なお、実施に当たっては各地方獣医師会等と連携するなど、円滑な予防注射の実施の推進についてご協力のほどよろしく願いいたします。

また、市区町村で実施する集合注射の実施の可否についても、各地域での新型コロナウイルスの感染者の発生状況等を踏まえ柔軟に検討いただくとともに、実施する場合は、参加者の感染リスクを高めることがないよう感染拡大防止対策を徹底いただくようよろしくお願いいたします。

なお、同内容の事務連絡につきましては公益社団法人日本獣医師会にも送付しておりますので併せて御連絡します。